



ID: 1335

科目名	建築構造Ⅲ【26年度生用】			コード			
英語表記	Design of Steel Structures						
担当教員名	西村 彰敏			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
鉄骨構造は、低層から超高層までの多くの建築物の構造体として活用されている構造種別の一つである。鉄骨構造に用いられる鋼材は、明確な弾性域と塑性域の存在、高い靱性、均質等方性など、素材の力学的な性質から構造物全体の挙動を説明しやすいはっきりとした特性を持った材料である。本講義では、鉄骨構造の基本といえる材料の弾塑性挙動、座屈、接合部の3点に焦点を絞り、各種設計式や設計の考え方を力学の基礎理論に基づいて体系的に把握し習得することを目的とする。							
到達目標							
(1) 鋼材の基本的な特性を理解する(2) 部材設計の考え方および座屈挙動を理解する(3) 接合部の構成と設計に考え方を理解する							
授業計画							
第1回	ガイダンス(本講義でのねらいと進め方)						
第2回	鉄骨構造の発展・特徴・種類						
第3回	鋼材の製造法・種類・形状と寸法・性質および鉄骨の製作						
第4回	基準強度と許容応力度、構造設計法						
第5回	座屈挙動						
第6回	引張材の設計						
第7回	圧縮材の設計						
第8回	梁材の設計						
第9回	柱材の設計						
第10回	高力ボルト接合、ボルト接合						
第11回	溶接接合						
第12回	梁継手、柱継手						
第13回	梁継手、柱継手の設計演習						
第14回	柱梁接合部						
第15回	講義の要点の復習と試験に対する対策						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
総合評価をする、定期試験、演習課題のレポート・出席状況も加味する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					30	60	
授業外学習			テキスト、教材				
演習課題のレポートを適宜提出すること。			授業内で適宜プリントを配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業中に適宜紹介する。			建築構法を履修して学習修得することが必要である。				
キーワード							
鉄骨骨組、全体座屈、横座屈、局部座屈、継ぎ手・土口							